２０１８年度同志社中高同窓会第４回理事会議事録

開催日時　２０１８年4月２０日（金）１９時００分 ～ １９時３７分
開催場所　同志社大学今出川キャンパス　至誠館３階　会議室
出席者数　出席者総数４５名　　理事出席者２９名(内、委任状１０）　【理事総数３５名　　定足数２４名】
　　監事２名　　オブザーバー１１名　　事務局２名

理事会当日出席者名簿（敬称略）
理事長　　平５土井優子
理　事　　昭３８古市義人　　昭５７山下善彦　　平２佐竹洋吉　　平４平岡成介　　平５早田和仙／宮階幹久／井上麻紀／志田麻紀子／濱中倫秀／紀平聡志／杉江勇吾／徳田純平／上杉英太　　平６河上雄登／上村哲弘／細見幸司　平７森田耕平　　平１２松村基史
監　事　　昭５７田中正人　　昭５９鍵圭一郎
オブザーバー　　平４竹川尚美　　平５王雅彦／三宅純也／下坂真智子／茶谷和美　　平６市川昌史／小川顕彰／田中吉嗣／浅岡美爾子／松原亮／島袋真由美
事務局　　髙瀬和子／増田直美

1）開会の辞……H5 志田理事

2）出席者及び定足数の確認……H5 志田理事
定足数の確認。現在、委任状を含む出席者数２９名。定足数に達しているので本日の理事会は成立。

3）理事長挨拶……H5 土井理事長
皆様こんばんは。お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。新学期に入りまして、皆様の中にはご自身やご家族が新しい環境に移られた方もいらっしゃるかと思います。もう４月も下旬に入り、少し疲れが出てきた頃かなと思いますが、そういった中では、メジャーリーグにいった大谷選手もちょうど今そういう時期かなと思いました。彼の試合をご覧になった方の中には、バックネット下に「東京西川」という広告をご覧になった方もいらっしゃるかもしれません。話によりますと、バックネット下の広告というのは１イニングあたり２０００万から３０００万円が相場で、その東京西川さんは開幕の４試合に広告を出されたそうですので、９イニングの４試合として７億から１０億円程度を出されたことになります。２０１７年の１月期の西川産業さん全体の売上高で３４２億円だそうですのでなかなかの割合で、攻めたことをなさったなと思っていました。ただ日本語で「東京西川」という広告をそのまま出されたので、日本人はもちろんですけれども、現地のアメリカ人の方にとっても注目を集め話題をよんだそうで、東＝east、京＝capital、(西川＝)west river、「あれは何だ？」とすごく話題になったそうで、知名度の向上には役立ったそうです。あるときは思い切って、守ってばかりではなく攻めの時も時には必要なんだ、攻守のバランスをもって進めていくことが大事なんだなと感じた次第です。われわれの会もそのようにやるときはやって、バランスよく進めていきたいと思っております。直近ではいよいよ来月にゴルフ大会が開催されます。このときもバランスよくみんなで力を合わせておもてなしをしていこうと思っておりますので、参加される皆様はどうぞ楽しみにしていていただきたいと思います。本日、進捗状況の報告も含めて理事会を行いますので、本日もどうぞよろしくお願いいたします。

4）議事録作成者指名……H5 志田理事
H5 早田理事を指名。

5）資料の確認……H5 志田理事
議題からはじまって合計１１枚。

6）議案の確認……H5 志田理事
本日、審議事項はなし、報告事項４件。その他に議題で上げるべき事項はなし。各その他の項目は削除。

7）前回議事録確認……H5 志田理事
第３回理事会の議事録を先日メールにて配信済み。内容等についての質問はなし。

会則に従い、土井理事長が濱中理事を議長に指名。

８）議 案
報告事項

１．ゴルフ大会進捗状況……H5 徳田ゴルフ大会実行委員長
４月１０日に申込み受付を終了。現在はメンバー調整中の学年があるので人数は確定していないが、当初の目標３５組を大きく上回る５２組の申込みをいただいた。組数が増えた分はスタート時間を早めて対応。１組目は７：２０前後を予定している。前回の理事会からの変更点が２点。一つ目は、表彰式は入れ替え制で行うということ。当初は別々のコンペルームで行う予定だったが、組数が増えたことにより２部屋を繋げる必要があるため入れ替え制となる。具体的には１部の表彰式の方は準備ができた方からコンペルームでお待ちいただく。２部の表彰式の方、中でも前半に回られた方はいったんレストランでお待ちいただき（ウェルカムドリンクを提供）、１部表彰式終了後、コンペルームに移っていただく。変更点の二つ目は、今回はセルフプレーが原則だが、ホールインワン保険の関係でショートホールにフォアキャディーを配置するよう要望があったため、ショートホール４ホールのティーグランドにホスト学年スタッフを配置することとなったこと。ゴルフ大会まであと１ヶ月となった。同窓生に楽しんでいただけるようしっかりと準備をしていく。

２．広告協賛・同窓会誌進捗状況……H5 杉江広報協賛委員長
○ 広告協賛について
（資料参照）

（意見・質問）
S59 鍵監事　予算でいうと広告は何口くらい必要なのか？
H5　杉江委員長　予算は１２００万円。広告協賛３０，０００円、特別広告協賛１５０，０００円なので現状では全然足りていない。例年、特別広告協賛は１５口くらいいただいているので、広告協賛は３００口から３５０口くらいをお願いできればと考えている。昨年同様、送付した方々に４月下旬頃からホスト学年が電話でお願いさせていただく予定。
S57 山下理事　京都新聞（の全面広告）はやめてもいいのではないかと毎年思っている。われわれの学年の時も、伝統で、特に何も考えずに出したのだと思う。これを批判しているわけではなく今後のためにいうのだが、新聞の重要性が昔より薄れてきている中で、京都新聞というのはどうなのか。もし新聞で企画するとして、例えば、同志社のものと比べて、洛星の同窓会のものはひじょうにわかりやすい。同志社のものは虫眼鏡で見てもわからないような字体で、果たしてこれで意味があるのかと思いながら毎年見ている。メディアの媒体はいろいろあると思うが、みなさんのお考えをお聞かせいただきたい。
H5　杉江委員長　会員の現状の年齢層、協賛をいただいた方の年齢層を踏まえて、新聞・雑誌というのはどうなのかと議論をしたが、われわれの方に入ってきている先輩方からのご意見も含めて、新聞広告を楽しみにしているという方もいらっしゃると聞いている。「ああ今年も載ってるな」と自分の名前を探される方もいらっしゃるということを考えると、頂いている金額を変えず、仮に京都新聞をやめる、代わりに何もしないということは少し厳しいかと思う。仮に辞めるとして代わりの媒体として何があるのかという議論の中で、楽しみにしている方の年齢が割と高い方が多いのではと考えたときに、新聞というのはベターな選択かなと。また新聞というのは保存性もあり、名前を探すのを楽しみにしている方にとっては悪くないかなということで今年に関しては継続としたが、来年のことも含めて議論すべきかとは思う。
S57 山下理事　同窓会というのは誰のためにやっているのか。一部のシニアのためにやっているのか。それとも若い人ともどんどん交流して、同志社の看板を背負ってそれをひとつのメリットとして社会に生きていってほしいという意味でやっているのかちょっとわからない。今までの伝統からいえば、シニアにフォーカスしすぎかなとも思う。読まれて喜ばれるということはいいことだとは思うが、果たしてどれだけの人がいるのか。もう少し今の時代に合わせて、決まったことだけやるのではなく、幹事学年が時代を読んで消化して、それに対して幹事学年が新しいことにチャレンジされるということは拍手喝采のことで、一部の方の喜びのためだけにやるのではないと思う。ぜひ年配者を怖がらずにチャレンジしていただきたい。
H5　紀平理事　補足をすると、われわれの学年でも京都新聞をやめようかという話が一度出た。その方が資金も余るし、１５０周年に向けてお金を貯めていくという意味でも。
S57 山下理事　いくらかかるのか。
H5　紀平理事　２３０万。
S57 山下理事　高い。
H5　杉江委員長　メディアの価格としては安い。
S57 山下理事　α-STATION でやるというのは？
H5　杉江委員長　メディア接触時間が一瞬ですから。その瞬間聞いていた人だけリーチするというのはラジオの弱点。ラジコ（radiko.jp）もあるが、そう考えるとどうなのか。おっしゃるとおり、誰に喜ばれるのかという議論は当然するべきだが、今の形での露出、名前が出るメリットという部分を担保するなら新聞がいちばんかと思う。
S57 山下理事　この話を広げるわけではないが、いろいろな大学の交流会に参加していて、慶應の三田会これは大学が中心だが、見ているとひじょうに羨ましい。同志社も熱い絆をもっていい交流をしていただきたいと常々思っている。
H5　土井理事長　逆にお尋ねしたいのだが、三田会のどのような点を羨ましいと考えられるのか。私どもも活かしたいと思う。
S57 山下理事　まず、立派な名簿がある。三田会は大企業の社長ばかり。商売をすることが全てではないが、「何年卒のだれだれです。」というだけで、同窓会という上下関係のダイレクトな繋がりがこの名簿一つでできるというのはすご

いなと思っている。あそこはあそこだけで食べていける。食べていくことが同窓会の目的ではないが、それはひとつのブランド。同志社も追いついてほしいと思う。

H2　佐竹理事　Ｈ６以降の方もおられるということなので、広告の件についての補足だが、私の一つ上の長尾さんの代に、特別広告協賛１５万円枠が思い切ったチャレンジとしてスタートした。次のわれわれの学年では、乗っかるのか戻すのか、かなり議論をした。いろいろなリスクも勘案した上で、われわれは継続させていただいた。そこから継続していただいていて今は当たり前になっているが、実はＨ１から変わったもので、それまでは一律だった。次年度以降の方は自由に議論していただいて、どのような形にするか自由にアレンジしてもらったらいい。ご存じかとは思うが、ずーっとこれできているわけではないということを補足でお伝えしたい。

H5　紀平理事　１月以降にそれを議論しては間に合わないというのがわれわれの反省点で、もしそういったことも含めて検討するなら、今年からぜひ検討いただければいいと思う。

○ 同窓会誌製作状況

（資料参照）

（意見・質問）

H6　河上理事　学年だよりの依頼はこれから送られてくるのか？

H5　杉江委員長　はい。

３．東京懇親会進捗状況……H5 紀平東京懇親会担当理事

伊藤東京懇親会委員長に代わり報告。

（資料参照）

―資料補足―

①ご案内について

・今年度から代表代議員に東日本地区学年窓口担当者の選出を依頼。本日時点で１４の学年から学年窓口担当者の連絡をいただいている。４月下旬をめどに学年窓口担当者に個別に連絡をさせていただき、事務局で把握できていない東日本在住者、あわせて関西在住の方にもご案内をいただけるように努めていく。

・本日時点での参加申込み者は８０名弱（東京懇親会委員会で把握している同級生の数を含む）。目標の２００名にはまだまだ足りないので、理事・オブザーバーの皆様にもお声がけの協力をお願いしたい。

②イベント準備状況について

・現在の同志社中高の様子、進化の状況のご紹介イベントに向けて、同志社中学校・高等学校で撮影を実施。具体的には、私たちが通っていたときと様変わりした教室の状況や、今年度取り壊される体育館の状況、昨年チャペルに新設されたパイプオルガンの演奏・内部の撮影。中高の先生方・事務職員の方々にご協力いただき、充実した内容となったので、イベントに向けて編集作業を行っていく。

４．同志社中高同窓会入会式の報告……H5 上杉総務委員長

（資料参照）

―資料補足―

①同志社中高同窓会入会式の開催について

・Ｈ５から５名、Ｈ６から２名（小山氏、浅岡氏）が出席。

②卒業記念品について

・従来の記念品のワッペンは実際に使うケースがひじょうに少ないということで、今年は「金封袱紗」に変更。

9）次回理事会開催日時・場所の確認……H5 志田理事

第５回理事会は７月７日土曜日１７時から、場所は後日ご案内。

―今年度初出席の理事・オブザーバーの自己紹介―

S57 山下理事　去年、平岡理事長のもと理事になりまして、今年は最後でございます。いいたいことをいって辞めさせてもらいます。大相撲と一緒で、伝統を変えましょう。

H6 上村理事　あまり何もできませんけれども、今年いっぱいがんばっていきます。

H5 下坂氏　今年１１月の大懇親会に向けてみなさんといっしょにがんばっていきたいと思いますのでどうぞよろしくお願いいたします。

H6 松原氏　大阪で勤務しています。今年１年間よろしくお願いします。

H6 島袋氏　来年、私たちがホスト学年ということで、少しでも手伝えたらと思っています。よろしくお願いします。

１０）監事講評……S57 田中監事

本日は、報告事項のみということでしたが、活発な意見・質問が出て、それぞれの項目の確認ができたことと思っております。また、広告協賛の項目につきまして活発な質問が出る中、早くも今年度の反省をふまえて次年度にアドバイスを送っていただくという幹事学年のみなさんの配慮が見受けられてたいへんよかったと思っております。これからどんどん具体的かつ数字を追っていくような仕事が増えてくると思いますけれども、ひとつひとつ着実に、迷ったときには今年度の２０１８年度土井理事長の方針に立ち戻って進めていただきたいと思います。本日は理事のみなさん、幹事学年のみなさん、オブザーバーのみなさん、またいつもたいへんお世話になっております事務局のみなさん、どうもお疲れさまでございました。これから具体的に前向きに、将来ニコニコ、この会がよかったなあと思えるような理事会になっていっていただきたいと思います。本日はお疲れさまでございました。

１１）閉会の辞……H5 志田理事